

学校長様

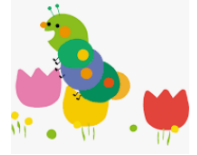
児童支援専任・生徒指導専任様

特別支援教育コーディネーター様

養護教諭様

横浜市立浦舟特別支援学校

# 連携支援だより



新型コロナウイルス感染症拡大による一斉休校から1年余りが経過しました。新年度を迎えましたが、浦舟特別支援学校でも感染症拡大予防に努めながらの教育活動が続いています。

さて、例年連携支援だより第1号は、浦舟特別支援学校の紹介をしております。



浦舟特別支援学校は、横浜市立で唯一の病弱特別支援学校です。医療と連携して、小学1年生から中学3年生までの病気療養中のお子さんに教育を行っています。市立の学校ですので、学籍の移動（転校手続）が必要になります。

浦舟特別支援学校には4つの院内学級があります。

- 横浜市立市民病院
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 横浜市立大学附属病院
- 横浜市立みなと赤十字病院

院内学級がない市内の病院に入院しているお子さんには、訪問指導を行っています。

- 済生会横浜市東部病院
- 芳生会保土ヶ谷病院
- 横浜カリアストビル
- 横浜市総合リハビリテーションセンター
- 済生会東神奈川リハビリテーション病院

(令和2年度)

どの場合も主治医の判断と、本人・保護者の希望が必要です。そのうえで教育相談を経て、転入手続となります。

入院中の学習、気持ちの安定、スムーズな復学に向けて支援をしています。

## さまざまな不安の軽減

学校に戻って、勉強がわからなかったら嫌だな・・・  
体調を見ながら、なるべく前籍校の学習進度に合わせて学習します。



治療が辛い・・・

早く家へ帰りたい・・・



お子さんの気持ちを聞き、寄り添います。自立活動として、ゲームや創作活動などを行い、気分転換を図ります。

久しぶりの登校、みんな

どう思うかな・・・



不安な点を整理し、主治医や前籍校の先生と対応を話し合います。副学籍交流のお願いをすることもあります。

## 研修会のご案内

特別支援教育総合センターとの共催で行っている病弱教育専門研修です。

### 第1回「病弱教育と人権」

～揺らぎを抱える子どもに寄り添う～

日時：令和3年6月25日（金）15:30～16:45

場所：横浜市立浦舟特別支援学校

（地下鉄阪東橋下車 徒歩6分）

（京急黄金町下車 徒歩12分）

講師：国立がん研究センター中央病院 緩和医療科

ホスピタルプレイスタッフ 公認心理師 小嶋 リベカ氏

内容：現在のコロナ禍も含めた環境、身体、心の変化の中で、子どもたちは喪失感や気持ちの揺らぎを抱えています。子どもの気持ちの揺らぎを止めるのではなく、きちんと揺らぎ、次へ進むための力を引き出すために、わたしたちができること、どう寄り添うかを考えます。



### 第2回「学校と医療の連携」

（仮題）～児童生徒の抱える精神的課題について～

日時：令和3年7月28日（水）15:00～16:45

場所：横浜市立浦舟特別支援学校

（地下鉄阪東橋下車 徒歩6分）

（京急黄金町下車 徒歩12分）

講師：横浜市東部地域療育センター 所長

高橋 雄一 氏

\*今年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防により、研修会の開催の有無、開催場所・方法（オンライン利用など）の急な変更が考えられます。変更は教育委員会からのお知らせをご確認くださいようお願いいたします。また、本校ホームページでも、決定次第掲載する予定ですので、そちらもご覧ください。

\*研修管理システム Leaf からお申し込みください。

## 教育相談について

病気が理由で、市内の病院に入院しているお子さん、登校ができていても病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受け付けています。

学校だけでなく、保護者からの相談も受け付けておりますので、ぜひご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 鈴木 TEL 243-2624

**\*お手数ですが、全職員への回覧をお願いいたします。**